

中学校 社会科学習指導案

廿日市市立四季が丘中学校 河野 龍彦

1. 分野 歴史的分野
2. 対象学年 第1学年
3. 単元名 『日本の歴史の中の女性』
(新学習指導要領の新設単元『歴史の流れと地域の歴史』として)

4. 単元設定の理由

平成14年度から新学習指導要領が実施される。中学校の歴史的分野については、「事項を精選して重点化を図るとともに、時代区分を大きくとって内容を再構成し、我が国の歴史の大きな流れを理解するようにする」ことが改訂の方針のひとつになっている。これを反映して、新学習指導要領には大項目「(1) 歴史の流れと地域の歴史」が新設された。この「(1) 歴史の流れと地域の歴史」では、具体的に次の2点のねらいが掲げられている。

ア 我が国の歴史について、関心ある主題を設定しまとめる作業的な活動を通して、時代の移り変わりに気付かせるとともに、歴史を学ぶ意欲を高める。

イ 身近な地域の歴史を調べる活動を通して、地域への関心を高め、地域の具体的な事柄とのかかわりの中で我が国の歴史を理解させるとともに、歴史の学び方を身に付けさせる。

この新設項目については、これからの実践による積み重ねが求められている。特に「ア」に関わる「主題的な学習」については、「イ」に関わる「地域の歴史」についての実践と比べると実践的な積み重ねが少ない。そこで、ここでは歴史学研究の中で隆盛を極める「社会史」に注目し、「主題的な学習」に関する授業を設計した。「社会史」を基軸とした構成で「歴史の流れ」をつかみ、歴史を学ぶ意欲を高めたいものである。

5. 単元の目標

【社会的事象への関心・態度・意欲】

女性史の一端に触れることを通して、歴史学習全体へ関心を持ち、時代の特徴や流れをつかみとるため、進んで調べることができる。

【社会的な思考・判断】

歴史全体の流れを意識しながら、各時代の事象に対する見方や考え方を、自分なりにとらえたり、各時代の人間の心性を探ることができる。

【資料活用の技能・表現】

歴史の中で女性が果たしてきた役割を全体の流れの中で自分なりにとらえ、各時代の女性の立場を資料を活用し、発表したり書いたりすることができる。

【社会的事象についての知識・理解】

歴史の流れを時代を生きた女性の姿や立場から認識するとともに、歴史学習を学ぶ意義をも理解する。

6. 指導計画

時	主な問い	主な目標
1	多くの土偶が女性をモデルとしているのはなぜだろう。 男性にとって縄文時代や鎌倉時代の女性は、どんな存在だったと思いま	縄文時代の人々の土偶に込められた思いや鎌倉時代の夫婦別姓の事例から、当時の女性の社会的な立場や役割を、作業的な活動を通して理解することができる。

	すか。あなたの感じたことをまとめなさい。	
2	約100年前に自らを「病人のような青白い月」と例えた日本の女性は現在どんな立場にあると思いますか。また、これからはどうあるべきか、自分なりの意見をまとめてみましょう。	女性の近現代における立場を調べ理解するとともに、前時代及び現在の女性と比較することを通して現在についての認識を深め、歴史学習を学ぶ意義を理解する。

7. 学習指導の展開

本時(1/5) 主発問 助発問 指示・説明 資料提示 支援

	発問・はたらきかけ	資料/準備物	生徒の認識・活動
導入	<p>みんなは小学校の歴史学習の中でどんな人が印象に残ってますか？男性と女性のどちらが多いでしょうか。</p> <p>それでは歴史の中でいったい女性はどんな存在だったのでしょうか。歴史を学習するにあたってまず、歴史の中の女性の姿を調べてみましょう。</p>	<p>小学校歴史学習人物一覧表</p>	<p>聖徳太子 源頼朝 徳川家康 織田信長 卑弥呼 男性 教科書やこれまでの知識では女性は、意外にも少ないことに気づかせる。 女性</p>
展開	<p>今から約一万年前からはじまった縄文時代で、さかんにこのような人形がつくられました。これは为什么呢？</p> <p>モデルは女性？男性？</p> <p>多くの土偶が女性の形をしているのはなぜだろう？</p> <p>近年、注目を集めている「ハート」形の土偶は、モデルが「精霊」で自然の恵みに対する感謝の気持ちをこめたものだと言われている。そんな自然の力が絶大な時代である。そんな時代になぜ女性の姿をかたどった土偶がつくられたのか。</p> <p>ヒントとして男性と女性の違いである出産に着目させる。</p> <p>資料集や教科書で定説を調べてワークシートに書き込んでみよう。</p> <p>縄文時代は女性はどんな存在だったのかな？</p>	<p>土偶のレプリカ</p> <p>「ハート」形の土偶の写真入りワークシート</p> <p>資料集・教科書・ワークシート</p>	<p>土偶</p> <p>女性</p> <p>女性は特別の存在だったのではないか。 自然の恵みをたくさんもらえますように...という願いを込めたのではなかろうか。</p> <p>「土偶とよばれる人形の多くが女性の姿をしているのは、人々が豊かなめぐみを願う気持ちをこめて作ったからだと考えられている。」</p> <p>男性より上 神秘的な存在？ 大切にされていた。 尊敬されていた。</p>
	それでは時代をぐっと今に近づけて		

<p>展開</p>	<p>みよう。近づくとっても武士が最初に本格的な政治を担当し始めた鎌倉時代のことです。 鎌倉幕府を開いたのは誰だったか知っていますか？ 源頼朝の奥さんの名前を知っていますか？ ところで源頼朝・北条政子が夫婦でありながら，現在の夫婦とはちょっと違う！その違い！気づきませんか？ なぜそうなのだろう？それを考えながら，鎌倉時代の女性の立場について調べてみよう！</p>	<p>資料集・教科書</p>	<p>源頼朝</p> <p>北条政子の存在を知る。 北条政子が頼朝の浮気相手の家を嫉妬するあまり，攻撃させたエピソードや『承久軍物語』の中に描かれている政子像を紹介する。 夫婦別姓である。 「結婚しても姓を変えず，親の領地をつぐ権利をもち，男性と対等に近い地位にあった。夫の死後，妻が地頭になって地位をひきつぐ例もみられた。」</p>
<p>終結</p>	<p>男性にとって縄文時代の女性や鎌倉時代の女性は，どんな存在だったと思いますか？あなたの感じたことをまとめてみよう。 各自の想像を大切にしつつ縄文時代・鎌倉時代の女性のしごとや役割をおさえる。 鎌倉時代以降の女性はどんな存在になっていくのか。次回は今から80年前の女性の写真から見ていきましょう。</p>	<p>ワークシート</p>	<p>どちらの時代も今以上に男性は女性を大切にしていたのではないだろうか。 縄文時代は男性から尊敬されていたのではないか。 鎌倉時代は男女平等なのではないだろうか。</p>

本時（ 2 / 5 ） 主発問 助発問 指示・説明 資料提示 支援

	発問・はたらきかけ	資料/準備物	生徒の認識・活動
<p>導入</p>	<p>前回から女性にスポットを当てながら歴史の流れを見ていこうとしています。 今日は先ず，女性の服装に注目しながら，歴史の流れをイメージしてみよう。 次の絵を年表に当てはめてみよう。 前時に学習した土偶に込められた思いや，鎌倉時代の女性の立場も確認しながら補足説明を加える。</p>	<p>年表 女性を中心とした想像図及び絵画資料</p>	<p>想像図及び絵画資料 毛皮をまとい暖をとる女性 臼を使う女性 市場風景と女性（十二単） 腰巻をした女性（大原女） 女性と茶屋で働く女性（喜多川歌麿の美人画） もんぺ姿の女性（軍人の妻） ルーズソックスをはいた女性（スーツ姿の女性） カッコ内のものは補足説明に使う。</p>
	<p>の時代，女性をモデルとした土偶</p>	<p>前回提示</p>	<p>人々が豊かなめぐみを願う気もち</p>

<p>展開</p>	<p>がさかんにつくられたということをお前回も学習しましたね。それには当時の人々のどんな思いが込められていたでしょうか。</p> <p>の時代、夫婦別姓で女性の権利も男性と変わらないという例を見ましたね。思い出してみましよう。女性を敬う原始の人々の気持ちや本格的な武士政権のスタートである鎌倉時代の意外な一面が、垣間見れるようですね。それでは、さらに時代を現在に近づけて1926年の写真を見してみましよう。これは何をしているところだろう？</p> <p>こんな運動をしなければならぬ時代とはどんな時代なんだろうね。明治・大正・昭和を生きた女性たちの姿が想像できるものを調べてみまよう。</p> <p>発表してみまください。</p> <p>当時の女性にどんな印象をいただきますか？</p> <p>いったいつから男性と女性でこんなに立場が違って来たのでしょうか江戸時代の思想・学問に触れながらも、深入りは避ける。女性の立場を一つとってみても時代の流れによって大きく変わってきた。</p>	<p>のワークシート</p> <p>1926年東京で参政権を求める女性の運動を撮影したものの。</p> <p>資料集及び教科書</p> <p>青鞥社の宣言(要約)</p>	<p>を込めて作ったと考えられている。</p> <p>親の領地をつぐ権利がある。夫の死後、妻が地頭になって地位をひきつぐ例もあった。</p> <p>婦選獲得同盟と書いた紙を持っているので、何かを獲得しようとしているのだろう。選挙権ではないだろうか。政治に参加する権利ではないだろうか。</p> <p>女性労働者が紡績業などで過酷な労働をさせられていた。与謝野晶子が「日露戦争」に反対した。</p> <p>平塚らいてうは女性を「病人のようなあお白い月」と例えている。夫の留守中の家を守る妻として生きる。(宮内庁蔵の“軍人の妻”より)...</p> <p>妻に財産権がない。旧民法では女性の立場が非常に弱い。</p> <p>勉強などの機会が生まれはじめているものの、男性より下にあつかわれていないか。差別されているのではないか。鎌倉時代に比べて随分イメージがちがうものである。</p> <p>江戸時代かな？戦国時代あたりかな？</p>
<p>終結</p>	<p>約100年前に自らを「病人のような青白い月」と例えた日本の女性は、現在はどんな立場にあると思いますか。また、これからどうあるべきか、もう一度時代の流れを頭で整理しつつ、考えてみましよう。</p> <p>未来も男性、女性ともに「太陽」の</p>		<p>男性と対等の関係にある。太陽のように輝いた存在の人もたくさんいる。</p> <p>セクハラをうけやすい。</p> <p>まだ、差別が残っているのではないか。</p> <p>まだ不十分なので青鞥社の宣言に</p>

<p>ごとく輝いて生きるためには、これまでの歩んできた道を振り返ることも大切です。 歴史の流れをつかむ中で女性の姿を意識しながら学習すると、今まで見えてもなかったものまでも見えてくることを感じ取らせる。</p>	<p>あるように「かくされてしまったわが太陽」を取りもどす努力が必要である... 本当の男女平等を実現しなければ... ...</p>
---	---

8．評価

授業展開の中で小学校までの学習内容で理解の枠組みとなってきた「政治史」的な内容の理解の有無を確認する発問をまじえながら、新たな「社会史」的な視点の内容を資料及び教科書から見つけ出し、ワークシートに書き上げることができたかをみる。

第1時に確認されたことが、第2時の授業展開で生かされているかを、「歴史の流れ」を把握するための作業的活動やワークシートの記述からとらえる。

【社会的事象への関心・態度・意欲】

子どもが書いたワークシートの内容や作業的な活動から「歴史の流れ」を積極的にとらえようとしているかどうかを把握する。

【社会的な思考・判断】

子どもが書いたワークシートの内容や発問に対しての答えの中から、その質的な高まりを把握する。

【資料活用の技能・表現】

自分の仕上げたワークシートや選択した資料を活用して、他者に対しての説得や共通点を探ろうとしたり、これからのあるべき指針をもとに展開することができたかどうかを把握する。

【社会的事象についての知識・理解】

子どもが書いたワークシートの内容から、第1時・第2時のどの時間にどんな事実に関する知識を得ているか分析し、その内容が理解されているかどうかを把握する。